

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

提案書	
技術分野	①②⑤ (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
提案件名	汚染水貯蔵タンクエリアでの地下水流入・汚染水拡散抑制対策とトリチウム含有水の貯蔵・処理方法の提案について
提案者	中国電力株式会社
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>ボルト締め型タンクからの汚染水漏洩等により、同タンクエリア周辺の地下水観測孔からは過去最高 (79 万 Bq/L) 濃度のトリチウムが確認されている。(10/18 東京電力)</p> <p>このため、汚染水貯蔵タンクエリアについても、早期に地下水流入・汚染水拡散抑制対策を実施することが必要であり、その対策としてタンク設置エリア外周に恒久グラウト材または鋼矢板による遮水壁を設置し、その内側に揚水井戸を設置することを提案する。(添付1参照)</p> <p>併せて、揚水井戸により汲み上げたトリチウム含有水及びALPS処理水を長期安定的に貯蔵・処理するために、耐震・耐防風性に優れ、日射を透す屋根 (透明な膜材等) を設けた貯留池での日射 (自然蒸発) による大気への放出と大規模貯水池による雨水との混合希釈による海洋への放出方法について提案する。(添付2参照)</p>	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) <ul style="list-style-type: none"> ○一般的な工法であり、建設現場で広く活用されている。 ・開発・実用化に向けた課題・留意点 <ul style="list-style-type: none"> ○工程、コスト面と現場の状況を踏まえ、遮水壁構築時に汚染土を排出・処理しなくてよい工法として、恒久グラウト材による遮水壁を提案する。また、オーガーで先行削孔した後に、鋼矢板を直接打設できるのであれば、鋼矢板工法も有効である。 ・その他 (特許等を保有している場合の参照情報等) <ul style="list-style-type: none"> なし 	

(備考) 技術提案募集の内容 (6分野)

- ① 汚染水貯蔵 (タンク等)
- ② 汚染水処理 (トリチウム処理等)
- ~~③ 港湾内の海水の浄化 (海水中の放射性物質の除去等)~~
- ~~④ 建屋内の汚染水管理 (建屋内止水、地盤改良等)~~
- ⑤ 地下水流入抑制の敷地管理 (遮水壁、フェーシング等)
- ~~⑥ 地下水等の挙動把握 (地下水に係るデータ収集の手法、水質の分析技術等)~~